

# 2019 International J24 World Council Meeting 報告書

関東フリート 杉貴

## 1. 開催地

Coral Reef Yacht Club Miami, Florida, USA

## 2. スケジュール

10月27日（日）09：00～12：00

## 3. 議事録

### (1) 役員選出

- ・ 奇数年に担当役員の選出要、Nick Jaco（カナダ）が財務担当に選任（留任）
- ・ エグゼクティブコミッティーに David Cooper（イギリス）、Nicolas Cubria（アルゼンチン）、Will Wells（アメリカ）が選任
- ・ テクニカルコミッティーに Tim Winger（アメリカ）、Stuart Jardine（イギリス）、Michael Johnson（アメリカ）、Curt Barnes（アメリカ）、Alex Finsterbusch（アルゼンチン）、Bob Kinsman（アメリカ）、Michael Peter（ドイツ）、Gianpietro Pollesel（イタリア）、Kenneth Porter（メキシコ）を選出

### (2) 2019年 World の総括

- ・ 運営自体は非常に順調になされたと考えている。
- ・ ヨットクラブでなく、公園エリアであるレガッタパークに場所が変更となったことは残念であったが、レース海面を優先して変更の決断を行った。
- ・ レガッタパークは未だ工事中ではあるものの、80艇を受け入れることのできる唯一のハーバーである。
- ・ Social Event については再考の余地があるのでは？（レース後の開催数を増やす、一方最終日は全艇後片付けに追われ、参加率が低い）
- ・ Entry Fee を値上げして Social Event を増やすことは支持されないと思うが、レース後に簡単な飲食物を提供してレースを振り返るような機会は有益と考える。
- ・ チャーターボートのコンディションにばらつきがあった。チャーターボートは予め Inspection を行っておく等の対応は取れないのか？
- ・ 検討の余地はあるが、アメリカのように国土が広いと、メジャーの数も限られており対応は難しい。
- ・ キールの計測に抵触し、計測が通らなかった艇が1艇あった。
- ・ 計測に時間が掛かりすぎ、手待ち時間が長くなっている。VHF の活用等は検討できないか？

- ・ 少なくとも計測のプロセスは改善すべき、計測時間を予約するシステムの導入等により、改善は可能。
- ・ 併せて、ポート導線の見直しにより、効率化は図られるのではないか。

### (3) 2023 年ワールド

- ・ ギリシャから開催のオファーが来ている。
- ・ 2 か所の候補があり（パトラス：2019 年ヨーロッパ選手権開催地、テッサロニキ：Hellenic Police チームのホームポート）。
- ・ チャーターボートはヨーロッパ中から集める必要がある。特に地理的に近いハンガリーやイタリアからチャーターボートを集める必要あり。
- ・ イタリアからフェリーでボートを運ぶと 840EUR のコストが掛かるため、参加者の利便を考えると当該コストをチャーターフィーに込みとする、等の工夫が必要。
- ・ ヨーロッパ選手権の開催実績も踏まえ、ギリシャ協会のオファーを受け入れ、パトラス開催に決定する。

### (4) 2021 年ワールド

- ・ Mendoza（アルゼンチン）での開催が決定。Mendoza は地理的にはチリに近く、参加者はブエノスアイレスでなく、サンティアゴ・チリから入国することが望ましい。
- ・ アンデス山脈の高地にある湖での開催。
- ・ 数艇の新艇を用意できるかもしれない。
- ・ 2021 年のヨーロッパ選手権はアイルランドよりオファー有り。

### (5) 討議事項

- ・ 計測の簡素化、効率化が重要課題である。3 年以内に計測証明を取得した艇に対する計測の簡易化や一部免除の検討も必要と考える。
- ・ いつ計測を受けたのか？をワールドの WEB（チャーターボート）に記載できないか？
- ・ 計測員を増やす、チャーターボートについては事前に計測をオーナーが行う（この場合、当該計測費用はチャーター費用に上乗せされる可能性が高い？）等も解決方法として考えられるが、計測員が不足している。
- ・ 計測についてのマニュアルも整備されておらず、その整備も計測員の育成とともに、重要な課題となる。
- ・ マニュアルだけでなく、動画でも計測の方法を解説できるのではないか？
- ・ クラスルールについては、現在改定事項を検討中、意向が固まったら事前に各国の協会にもお知らせしたい。
- ・ 現在協会の WEB のアップデートを実施中、広告収入を得る等の検討も行っていく。

- ・ 新艇が発注されておらず、船齢も上がってきている。ワールド開催時に新艇を発注し、参加者に売却することも考えられるが、新艇のコストが相対的に高いのがボトルネックになっている。アルゼンチンにはJボートもあるため、次回のワールドでは新艇を発注したい。
- ・ 例えば 15 年後にどのような未来が考えられるのか？現在、J70 や Melges 等にセーラーが流出している。セーラーの引き留めやユース世代の取り込みが欠かせなくなっている。
- ・ 計測についてのトレーニングとともに、ボートメンテナンスのトレーニングを行うのも手ではないか？船齢も高くなっており、質の高いフリートの維持には欠かせない取り組みだと思う。
- ・ J24 に乗っているユースは、J24 のレースでなく一般のフリートレースに出る傾向にある、これは J24 がエントリーモデルとして優れていることの証だと思う。
- ・ ユースのエントリーフィーを安くする等のサポート案を検討。

#### (6) 次回の WCM

- ・ WCM については、四半期に 1 回電話会議にて行い、ワールドの開催地にてワールド終了後の翌日にミーティング形式で行う形としたい。
- ・ 次回は、2020 年 9 月 19 日（土）にイギリスにて開催予定

以 上